

令和5年度補正 品目団体輸出力強化緊急支援事業

マレーシアにおけるメロンのプロモーション 及び市場調査

静岡県温室農業協同組合
クラウンメロン支所

A: マレーシア、メロン（クラウンメロン）

出張期間 2024年9月24日から28日

出張行程

月日	時間	場所	内容	備考
9/24（火）	午後 11:30	羽田 → クアラルンプール	出発	NH885便
9/25（水）	午前 6:00	クアラルンプール空港	到着	
	終日	クアラルンプール周辺	商談、市場視察	
9/26（木）	終日	クアラルンプール周辺	商談、市場視察	
9/27（金）	午前	Great Harvest Fruits	商談	
	午後 2:15	クアラルンプール空港	出発	NH886便
	午後 10:15	羽田空港	帰国	
		羽田空港周辺ホテル	後泊	深夜着のため後泊
9/28（土）	午前	羽田空港 → 自宅	帰着	

A: マレーシア、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年9月24日から28日）

1 現地ディストリビューターと連携しての販路開拓並びに営業活動

- ・クラウンメロンを日本から輸入している現地輸入業者と連携し、クアラルンプール周辺のスーパーや高級レストランへの営業を行った。
- ・既にクラウンメロンを取り扱っているスーパーであっても、商品知識がなく、他のメロンと同じ商品コードで販売されていたり、B級品のグレードのものが販売されていたりしたため、売り場担当者へのレクチャーを行った。



写真左中央：
マレーシアにてクラウンメロンを輸入する事業者を訪問

写真右：
クラウンメロンを取扱うスーパー
クラウンメロンという記載はなく、
日本産メロンとして販売されている

B: マレーシア、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年9月24日から28日）

2 マレーシアでの市場調査

- 日本の青果物がクアラルンプールの主要なスーパーの多くで販売されている。ただし、他国産の青果物についても同じ店舗で販売されており、例えば、中国産のシャインマスカットが隣の棚で日本産シャインマスカットの1/10近い価格で販売されていた。
- マレーシア人は日本のものについては良いものという認識を持っているとのこと。他の青果物に埋もれないよう、もっと日本産であることをわかりやすくしたパッケージがよいという意見があった。



写真左：
日本産の青果物が並んでいる
現地スーパーの売り場

写真右：
マレーシア産のメロン
1玉およそ500円程度

C:マレーシア、メロン（クラウンメロン）

実施期間（2024年9月24日から28日）

3 マレーシア事業総括

- ・クラウンメロンも含めた様々な日本の青果物が販売されているが、販売価格が高いにも関わらず、高級感のある売り場づくりができていないように感じた。また、売り場の担当者が商品のことをあまり理解していないようなので、現場の教育も必要と感じた。クラウンメロンについて知っている消費者もある程度いるようで、売り方次第で更なる販売拡大の可能性はあると思われる。
- ・現状は基本的には空輸でクラウンメロンを日本から仕入れているようであったが、船便での輸入を検討しているとのことであった。船便での輸入により輸送コストが抑えられることで、販売価格も安くできるため、更なる販路拡大が期待できる。